

広報



まつざき

2007
(平成19年)

5

No.516



新しい学校へ！ 岩科・三浦地区から児童のバス通学が始まりました。

地域の安全を守る 松崎町消防団 入団式



新年度の体制整う

松崎町消防団の平成十九年度入団式が四月二日(月)、午後七時三十分から環境センター文化ホールで挙行されました。

式では、町長の挨拶に続き、新役員や新、再入団員総勢八十七人に辞令が交付され、新入団員を代表して五分団一小隊の佐藤謹作団員が「忠実に消防の義務を遂行することを誓います」と力強く宣誓しました。

内田址延団長は「住民のニーズを的確にとらえ、安全、安心の構築に向かい一緒に精進しよう」と訓示し、一層の結束を呼びかけました。



宣誓する佐藤団員

平成19年度 松崎町消防団役員名簿

本部	団長	内田 址延	副団長	山田宗太郎 山本 謹吾	本部長	土屋宗三郎	人員 12
----	----	-------	-----	----------------	-----	-------	----------

分団	分団長	小隊	副分団長	管轄区域	人員	
					小隊	分団
1分団	玉井直樹 (北区)	1	石田登志夫	東・西・南・北・中	30	59
		2	竹内 聡	宮内・伏倉	13	
		3	佐藤幹雄	道部	15	
2分団	永谷 茂 (江奈1)	1	山本博人	江奈1・2・3・4	20	34
		2	山田 亘	櫻田	13	
3分団	鈴木周二 (那賀)	1	船津 勲	吉田・南郷・建久寺・那賀	13	38
		2	船津 桂	船田・門野	12	
		3	斉藤伸彦	峰輪	12	
4分団	松本保夫 (大澤)	1	石田 太	大澤・明伏	13	33
		2	鈴木 栄	池代	13	
		3	山本政弘	小杉原	6	
5分団	稲葉文義 (指川)	1	稲葉直人	山口・指川・金沢	16	51
		2	中村 直	野田・中村・松尾	13	
		3	山本 厚	峰	10	
		4	土屋友明	八木山	11	
6分団	斉藤郁男 (岩地)	1	斉藤正則	岩地	10	40
		2	松本 晃	石部	13	
		3	土屋 修	雲見	16	
合 計					267	

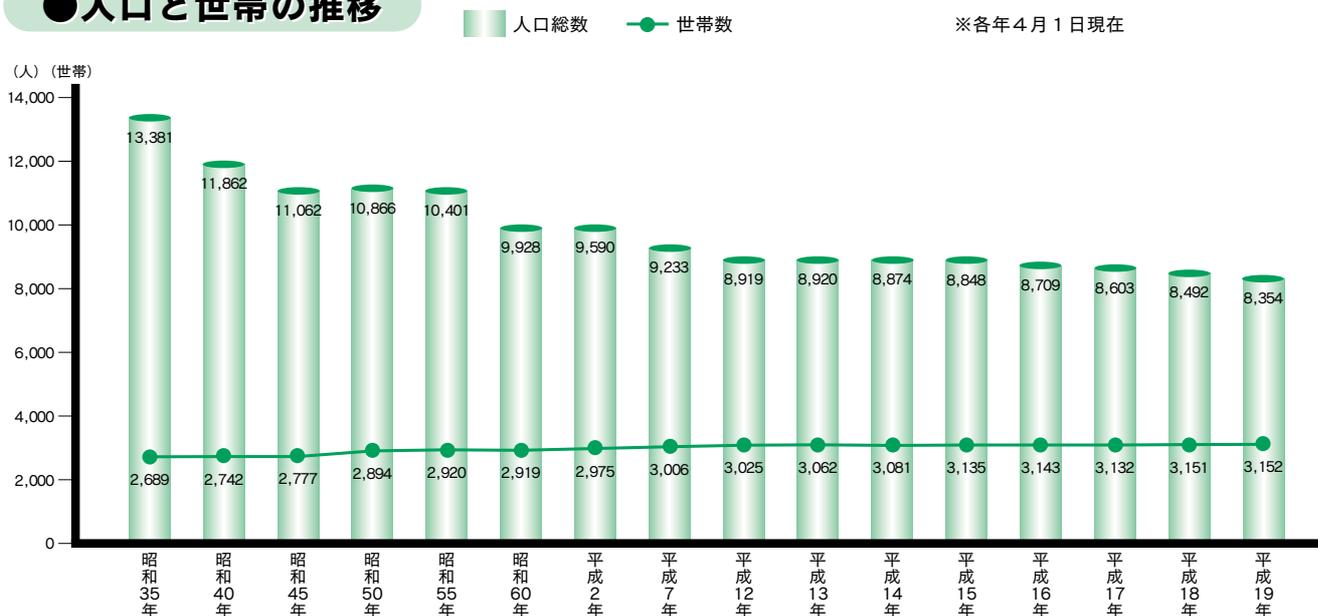


【問合せ】総務課広報防災係 電話42-3963(直通)

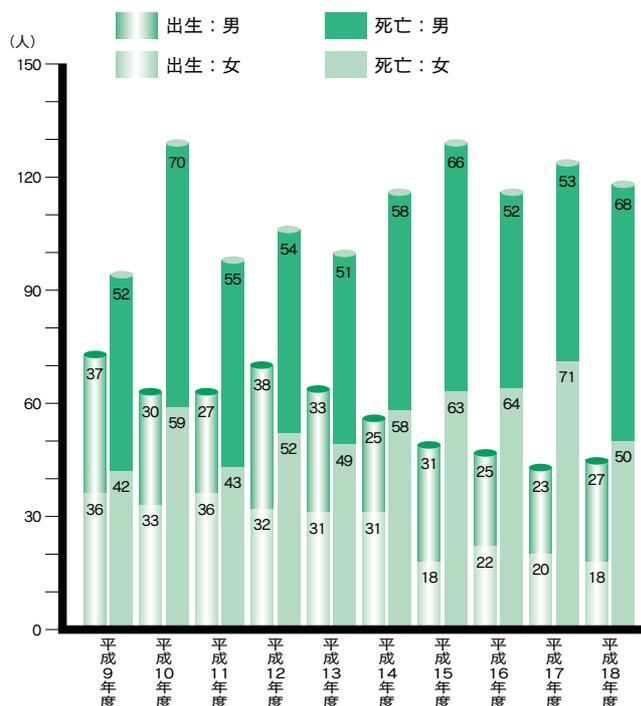
松崎町の人口の動きについてお知らせします

昭和31年6月、岩科村と合併し現在の松崎町になった時の人口は、1万3,724人でした。現在（4月1日）の人口は、8,354人と、3分の2以下まで減少しており、平均寿命の伸びや出生率の低下による少子高齢化が急速に進んでいます。町では、これらのことを踏まえた施策の展開が課題となっております。（すべての数値は住民基本台帳によるものです。）

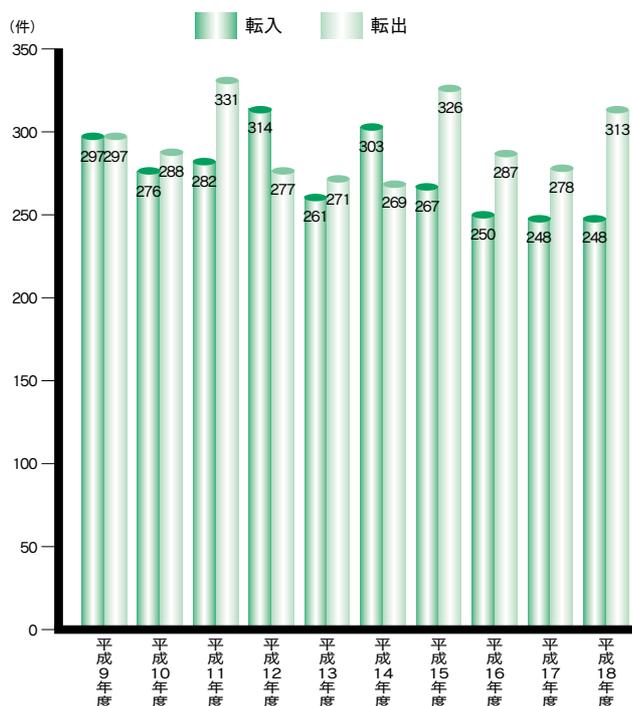
●人口と世帯の推移



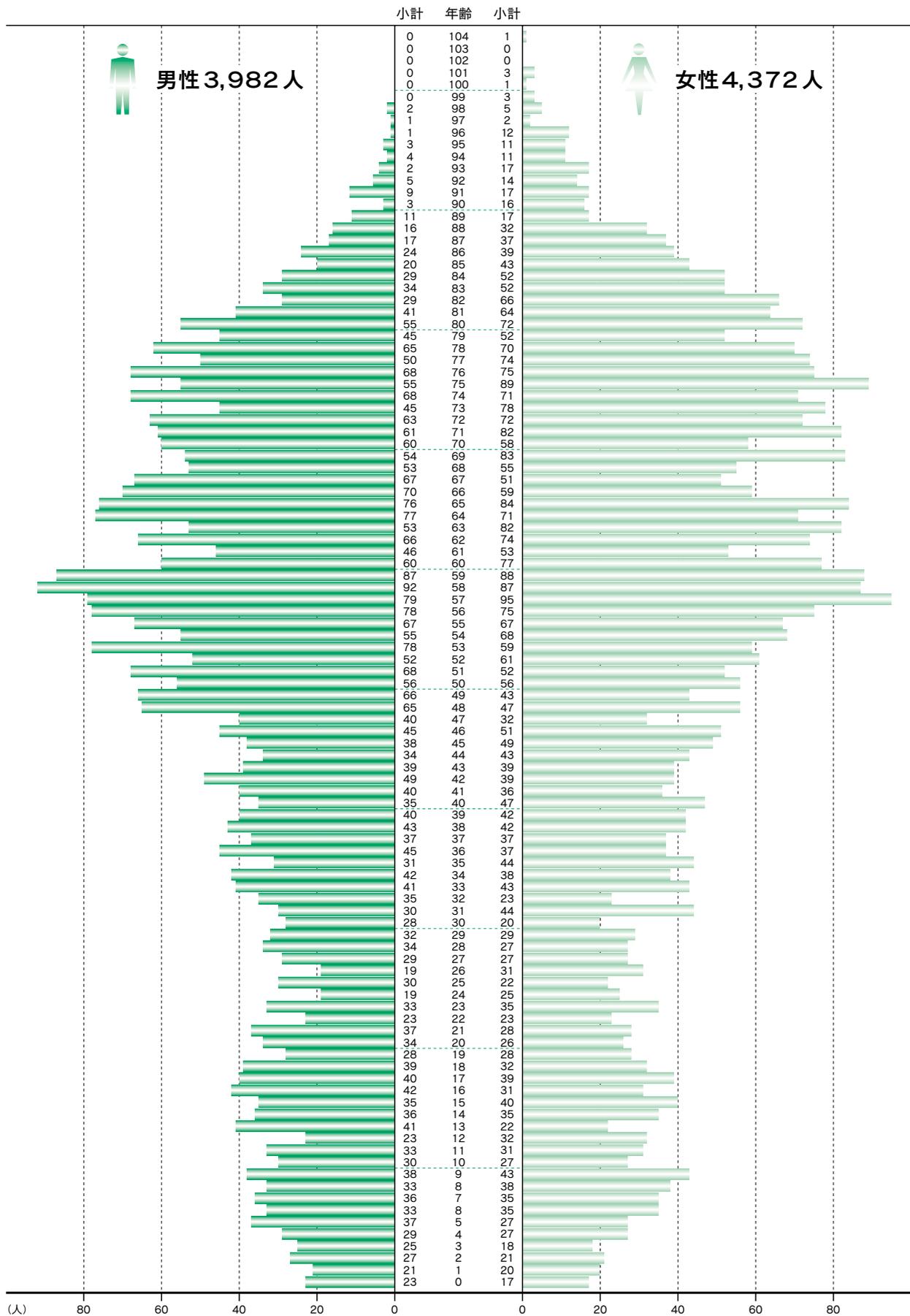
●出生・死亡件数



●転入・転出件数



●年齢・男女別人口（人口ピラミッド） 人口合計8,354人



※平成19年4月1日現在

名勝伊豆西南海岸の保存と活用

「魅力ある景観を未来へ」

伊豆西南海岸は、西伊豆町の田子島から松崎町を経て、下田市と境を接する南伊豆町の鹽岬^{しほい}までの延長六十キロメートルの海岸で、文化財保護法により昭和十二年に国の名勝地に指定されました。

この法律は、文化財を保存し、その活用を図り国民の文化的向上に資するとともに、世界文化の進歩に貢献することを目的としています。

このため、指定地域内において建物や建てたり、広告物等を設置するなど現状変更をしようとする場合は、文化庁もしくは静岡県教育委員会の許可を得るための申請が必要となります。

地域の方々にとって、伊豆西南海岸の景観はあまりにも身近であるため、日頃その素晴らしいことについては気付かれないことと思いますが、文化的にはもちろんのこと学術上も非常に高い価値をもっています。

歴史的にも貴重な財産とし

て位置付けられ、地域の誇りとして住民の生活に深く結びつき、共生しながらこの地域は発展してきました。

地域の活性化を目指し、魅力ある地域づくりを推進する中で、この海岸が果たす役割は非常に大きなものがあります。

このような文化財の価値や魅力を理解し、地域全体で守り、次の世代に継承して行くことが私たちの責務です。

【問合せ】教育委員会

【電話】(42)3971



指 定 地 域 (小字)

江奈：釜ノ本山、巨鯛島及び外部山全部

道部：横道、横道上及び室全部

岩地：日尻望、白根道上、白根、白根道下、萩谷濱、丸山廻、丸山、萩谷、日影平、大久保、大久保獄、細水、萩谷道、清水上、清水、前濱、西ノ田、船附濱、日和山、古浦濱、古浦濱上及び獄澤全部

石部：アゼ、附ノ浦、中附ノ浦、上附ノ浦、小舟及び黒崎全部

雲見：木ケ下、三競、藪ラ磯、長ケ磯、雲見獄、向山、角谷見、眞磯平、平浪、外山、眞林、長ケ崎及び小磯平全部

松崎文芸

— 俳句 —

のどかなり土手の上にも寝てみれば

山本武男

看板の枝垂桜や鮎の茶屋

佐藤 享

春を見にツーデーマーチ揚揚と

石田 宏

手唾きに耕人たしかな鋤つかい

小林一男

花咲くやいろはにほへど 吾独り

小林忠男

竹林に一木交じる山ざくら

細矢金治

雨あがり垣根に紅き花通草^{アケビ}

山本一詞

町起す大花畑にほひたつ

稲葉文字

閉校のなごり惜しむか春の雨

土屋規矩子

花かげや野点て和ます親子づれ

斎藤みつ子

足元を止めて渦巻く落花かな

清水高子

花並木歩く姿も絵となりて

松田美智子

花筏瀬に来て別れ惜しみけり

鈴木すみ江

うららかやメール返信覚えたる

吉岡うた子

一里程土手を歩いて花疲れ

依田ふじ枝

花の土手スケッチする人写す人

稲葉菊恵

まちのどきどき

なまこ壁と桜の ツデーマーチ

第八回伊豆松崎なまこ壁と桜のツデーマーチが三月三十一日(土)、四月一日(日)の両日、総合グラウンドを発着するコースで行われました。

全国各地から集まった約七百人の参加者は見頃を迎えた桜やなまこ壁の街並み、那賀の花畑などを眺めながら五^キ、十^キ、三十^キなど五つのコースに別れ、心地よい汗を流しました。



中川三聖まつり

四月一日(日)、第二十三回

中川三聖まつりが「道の駅」花の三聖苑で行われました。

この祭りは、郷土の三偉人(土屋三余・依田佐二平・依田勉三)の偉業をたたえるとともに地域の活性化をねらいとして行われています。

当日は天候にも恵まれ、訪れた多くの行楽客は、満開の桜を眺めながら春の一日を満喫していました。



松崎小学校出発式

四月五日(木)、岩科小、三

浦小と統合した松崎小学校で二年生から六年生の児童が参加して出発式が行われました。

新しい学校は、新入生五十四人を迎え、全校で三百三十五人、すべての学年が二クラスになりました。

これまでの三校を代表して六年生の三人が新しい学校での抱負を発表し、「新生松崎小学校」がスタートしました。



南川を昔の姿に

江奈地区を流れる南川は、川尻に防災水門が建設されることになり、工事が順調に進んでいる。

この南川、私の子供の頃は、元の国民宿舎から警察署までの一帯が泥地どころどころに芦が群生していた様に記憶している。少し上流の十字の園から清水屋パン店の辺りまでは水草が生えるきれいな小川であった。学校帰りに道草をして、「ふなっ子」や「めだか」を捕りにいった事を思い出す。

現在は汚れて昔の流れはなく、排水溝と化している。きれいな小川の頃と今では、沿線の状況、生活様式も大きく変化して仕方がないと言えはその通りであるが、このままで良いのだろうか。街の中を流れる小川、魚がゆったり泳いでいる様

な風景が花とロマンの町づくりの原点のような気がする。元の南川にもどりたい。昔の小川に返したい。この頃強く思う。

水門建設を契機に地域の人達で南川を「きれいにし隊」の活動グループでも作って欲しいと考えた次第である。

町長室からこんにちは ⑥5



松崎町長

深澤 進

21世紀 松崎町三つの実践運動「あいさつ・返事・後しまつ」

町の人口と世帯

(平成19年3月31日現在)
()内は前月比

総人口	8,354人(△27)
男	3,982人(△17)
女	4,372人(△10)
世帯数	3,152戸(+1)
転入	67人
転出	94人
出生	5人
死亡	6人

町の交通事故

(平成19年3月31日現在)
()内は前年対比

人身事故	7件 (- 1)
物損事故	27件 (+ 4)
死者	0人 (± 0)
傷者	11人 (+ 1)

- ※予防は血糖コントロールのみ
- ※定期的な眼底検査を受ける
- ※高血圧、高脂血症を防ぐ

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
宮内	鈴木鶴枝	86	知男
大澤	新井康太郎	86	石川トシ
江奈2	関輝美	79	唯彦
宮内	鈴木孝典	55	静夫
中区	須田むら	90	勝



(3月分) 戸籍だより

おめでとうございます(出生)

地区	名前	性別	保護者
南区	カエデ 楓	女	井村庄一
宮内	ユウカ 結翔	女	一瀬弘典
野田	レイ 莉	男	菊池徹
南郷	カイト 快翔	男	馬場哲也
船田	レオ 禮應	男	谷口一也

この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

保健師だより

糖尿病でも視力を失いたくない

「糖尿病網膜症」は

失明原因第1位

「糖尿病網膜症」は、網膜の毛細血管が常に高血糖にさらされて傷害を受ける病気で、

最初の段階は血液がしみ出したり出血したりし(単純網膜症)、次の段階では血管が閉塞して血液が流れない状態(増殖前網膜症)になります。すると神経細胞が酸素不足になり、それを補おうとして網膜に新しく毛細血管ができません。(増殖網膜症)

ところが、網膜はもともと毛細血管でいっぱいであり、それ以上血管が増える余地がなく、新しくできた血管は繊維化したりして眼球の中の硝子体というところに出血を起こしたりします。

糖尿病になつてしまつても次のことに注意して失明を防ぎましょう。

- ※予防は血糖コントロールのみ
- ※定期的な眼底検査を受ける
- ※高血圧、高脂血症を防ぐ

姉妹都市通信

帯広市から

楽しさいっぱい！おびひろ動物園 帯広市街地の中心に位置する緑ヶ丘公園内に、おびひろ動物園があります。

ここには、テレビで紹介されたゴマフアザラシの「カイくん」がいます。プールから起き上がる姿が正座をしているようでお行儀がいい！

さらにこの春、愛くるしい満1歳のホッキョクグマ「ピリカ」くんが本格デビューします！

他にもヒツジなどかわいい動物たちと身近に触れ合えます。松崎町の皆さんも、帯広へ来た際には、子供から大人まで楽しめる、おびひろ動物園にも足を伸ばしてください。



松本市安曇区から

四月五日(木)、安曇地区の二つの小中併設校の入学式が行われました。

今年度は、安曇小学校に九名、同中学校に十名。大野川小学校に三名、同中学校に七名が入学しました。

当日は、春遅い信州の底冷えのする陽気でしたが、真新しい洋服に身を包んだ新入生は保護者に付き添われ、皆満面の笑顔での入学式となりました。

児童生徒数の減少は安曇にも及んでおり、両校とも小中併設の小規模校ですが、小中一貫教育等、その特色を生かした教育が行われています。

